

# 令和 9 年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

## 中学校（音楽）問題

「始め」という合図があるまで，このページ以外のところを見てはいけません。

### 注 意

- 1 この問題は 7 問 4 ページで，時間は60分です。
- 2 解答用紙は，別紙で配布します。「始め」の合図で始めてください。
- 3 解答は，それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 4 「やめ」の合図があったら，すぐやめて係の指示に従ってください。
- 5 解答用紙を持ち出してはいけません。

令和9年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

## 中学校 音楽

1

次の（１）～（５）に答えよ。

- （１） 歌舞伎における「合方」について説明せよ。
- （２） 「交響詩」について説明せよ。
- （３） 「Andante con moto」の用語の読み方と意味を記せ。
- （４） 「riten.」の用語の読み方と意味を記せ。
- （５） イ短調の主要三和音を，全て全音符で記せ。

2

次は，ある楽曲の一部を示したものである。下の（１），（２）に答えよ。

著作者の権利保護のため  
掲載を省略します

- （１） 次の①，②に答えよ
  - ① この楽曲の作曲者を記せ。
  - ② この楽曲の正式名称を記せ。ただし，調性及び作品番号は省略してよい。
- （２） この楽譜をへ音記号で記譜せよ。

3

次の（１），（２）に答えよ。

- （１） 『和声と創意の試み』第1集『四季』について，次の①～③に答えよ。
  - ① この楽曲の作曲者が活躍した西洋音楽における時代名を記せ。
  - ② この楽曲のような独奏楽器と合奏のための器楽曲の総称を記せ。
  - ③ 楽譜に書かれた低音パートの上に，和音を加えながら伴奏する方法を記せ。

(2) 「箏」及び「箏曲」について、次の①～④に答えよ。

- ① 左手で糸を押して、音高を上げる奏法を記せ。
- ② 左手で糸をつまんで柱の方に引き、音高を半音程度下げる奏法を記せ。
- ③ 目の不自由な音楽家たちが所属した、当道と呼ばれる職業組織での最高の職位を記せ。
- ④ 都節音階による調子で、箏曲『六段の調』に用いられている箏の調子を記せ。

4

次に示した楽譜をソプラノパートとして、8分の6拍子、8小節のソプラノとテノールの二重唱を創作し、解答用紙に記せ。なお、中学生が無理なく歌えるものとする。



5

次は、共通教材『赤とんぼ』の一部を示したものである。下の(1)，(2)に答えよ。

著作者の権利保護のため  
掲載を省略します

(1) この楽曲の作曲者を記せ。

(2) 第1学年において、この楽曲を歌唱教材とした題材の計画を立てる。次の①，②に答えよ。

- ① この楽曲の旋律の特徴を記せ。
- ② あなたが授業を行う場合、どのような題材名(学習目標)を設定するか記せ。また、その設定理由を記せ。なお、理由には「生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素」についての記述を含めること。

6

中学校学習指導要領「音楽」について，(1)，(2)に答えよ。

- (1) 「第1 目標」について，次の①～④にあてはまることばを，それぞれ記せ。

表現及び鑑賞の（ ① ）活動を通して，音楽的な見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の音や音楽，音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の（ ② ）や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに，（ ③ ）を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を（ ③ ）することや，音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して，音楽を愛好する心情を育むとともに，音楽に対する感性を豊かにし，音楽に親しんでいく態度を養い，（ ④ ）を培う。

- (2) 次は，「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の一部である。①，②にあてはまることばを，それぞれ記せ。

2 第2の内容の取扱いについては，次の事項に配慮するものとする。

- (1) 各学年の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては，次のとおり取り扱うこと。

ア 音楽活動を通して，それぞれの教材等に応じ，音や音楽が生活に果たす役割を考えさせるなどして，生徒が音や音楽と生活や社会との関わりを（ ① ）できるよう指導を工夫すること。なお，適宜，自然音や環境音などについても取り扱い，（ ② ）への関心を高めることができるよう指導を工夫すること。

**7** 次の(1)，(2)に答えよ。

(1) 第2学年において，題材名(学習目標)を「三味線音楽の特徴を生かして，表現を工夫しよう」とした器楽の授業を考える。このとき，次の①～③に答えよ。

- ① この題材において扱う教材曲を一つ示し，生徒にどのような技能を身に付けさせたいか記せ。
- ② この題材における，「生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素」を一つ設定し，その理由を記せ。
- ③ 曲にふさわしい器楽表現を創意工夫するための具体的な学習活動を，簡潔に記せ。

(2) 第3学年において，ラヴェル作曲『ボレロ』を鑑賞教材とし，題材名(学習目標)を「曲の構成や曲想の変化を捉え，音楽のよさや美しさを味わおう」とした2時間の題材の計画を立てる。次の①～④に答えよ。

- ① ラヴェルが作曲した『ボレロ』以外のオーケストラ作品を一つ記せ。
- ② 題材名に基づいた，生徒の1時間目と2時間目の学習活動の内容を，それぞれ具体的に記せ。
- ③ この題材における習得を目指す知識を示し，その知識を習得させるための手立てを記せ。
- ④ この題材の「思考・判断・表現」の観点について，授業のどのような場面でどのように評価を行うか記せ。なお，「生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素」についての記述を含めること。